

迫り来る東海・東南海・南海の巨大地震

その瞬間の状況・状態による「備え方」を覚えよう！

先月号に引き続き、内閣府中央防災会議発表「東海・東南海・南海の巨大地震を暫定的にマグニチュード9に高める」との発表内容に基づき、私たち市民が考えられることを「想定」という許される枠の中での検証内容を、皆様にお伝えしていきたいと思ひます。あくまでも加古川グリーンシティにおける想定であり、全国を一律に考えたものではありません。

【巨大地震発生】

想定日時2012年12月13日(木) 13時

マグニチュード9の地震が発生

「加古川では震度5強～6弱程度の揺れを感じた」

(阪神淡路大震災時の加古川での揺れを上回る)

シリーズ「災害への想定」 Story 2

先月号の途中「強い地震の揺れが発生した瞬間」まで少し時間を巻き戻すことにします。

「強烈な揺れ」震度5強以上になると、自由に身体をコントロールできなくなります。揺れの瞬間にできる



適切な対処は、一度や二度の訓練

では不可能です。特に起震装置や

起震車等の訓練を経験したとして

も、これらは「今から揺れます」

と宣言された後に揺れるわけ

です。実際の地震では、不意を突

いたの強烈な揺れとなるので正しい

行動を意のままにとることは難しいのです。そこで、

ひとつの行動で身の安全を図る「ワンアクション・構

えの訓練」を繰り返し行う必要があります。「ワンア

クション・構えの訓練」は頭で判っていたとしても、

その瞬間には行動が伴わないことを理解しておく必要

もあります。緊急地震速報等の事前情報もなく揺れを

感じると「地震だ！」とすぐ判断できる人は少ないで

しょう。体調不良による「めまい」だと思ったり、二

日酔いや、足が絡まりよめいた様にしか思わなかつ

たりする人もいます。この様な経験をした人は多いの

ではないでしょうか。怯えて暮らす必要はありません

が、頻発する地震に対して「地震か？」と疑い、すぐ

身を守る姿勢をとることが大切です。「地震かな？い

や違うね」と笑える方が命を守ることになるのです。

さて、強い揺れに襲われた時、立

っていることは不可能になります。

ワンアクションで安全な場所へ移

動し、しゃがみ込みましょう。立っ

ているとケガをする危険性が高くなり

ます。自宅であれば、安全な場所



に移動してしゃがみ込む動作でよいのですが、外出先

の場合には、構えに違いが出てきます。

■オフィス内で強い揺れを感じたら？

- ・照明器具の落下やロッカー等の什器転倒への注意
- ・キャスター付OA機器転倒への注意
- ・窓際には近づかない(ガラス破損による散乱注意)
- ・低い姿勢で机やテーブルの下へ移動

■ビルの近くで強い揺れを感じたら？

- ・ガラスや看板等の落下物に注意
- ・ビルのエントランスに移動

■幹線道路で強い揺れを感じたら？

- ・民家の瓦の落下やブロック塀の倒壊
- ・エアコンの室外機が転倒や落下
- ・道路の亀裂や陥没及びアーケードの崩落
- ・自動販売機の転倒
- ・切れた電線に触れない(感電注意)

■デパートやスーパーで強い揺れを感じたら？

- ・陳列棚や危険な売り場からすぐ離れる

■地下街で強い揺れを感じたら？

(揺れは地上の半分)

- ・出口に殺到しない!
- ・停電時は携帯電話で明かりをつける

■公共交通機関乗車中に強い揺れを感じたら？

- ・車外に飛び出さない
- ・電車内は運転手や車掌の指示に従う!(次号へ続く)



去る、1月28日7時39分の震度4と7時43分の震度5強の地震が甲信越地方で発生した時、当記事執筆者は静岡県三島市で2回の揺れに遭遇しました。

テレビでは緊急地震速報も流れず、携帯電話のエリアメールも流れませんでした。最初の揺れは震度3、洗顔中だったのですが、耳鳴りの様なものを感じた。揺れた瞬間は「あれえ二日酔い？」と思い、地震だとはすぐに認識できなかったのです。「地震?あっ地震だ」程度の感覚でした。しかし、二度目の強い揺れの前に阪神淡路大震災時の揺れる数秒前に聞いた「大きな地鳴りと耳鳴り」を感じ取り、瞬間的に「大きい揺れが来る!」と判断し身構えることができました。

思えば、最初の揺れで「地震だ」と、認識できない時に強烈な揺れに襲われていたら、何もできずにケガをしていたかもしれません。日々、備えができていている私でさえ、洗顔中という他の行動に気をとられ、瞬時に「地震だ」と判断できなかったのです。やはり、揺れる前に知ることができる情報システム「緊急地震速報」等の伝達機能の、更なる精度アップを図ってほしいと心から思いました。

緊急地震速報を受信できる無料ソフト「Signal Now Express」があります。自宅のパソコンにインストールすることをお勧めします。「揺れる前」に「揺れることを知る」、それが「命を守ること」に繋がる!